

公益財団法人日本郵趣協会 2016年度事業報告（2016年4月1日～2017年3月31日）

【事業活動の総括】

日本郵趣協会は2011年の公益財団法人化後、日本唯一の公益法人郵趣団体として、定款に定める目的実現を目指して、2016年度は2020年の東京オリンピック・パラリンピック、2021年の日本郵便創業150周年を当面の目標に、郵趣界全体を活性化していくため、理事会、各委員会を定期的に開催して意思統一を図り、理事を先頭に各事業活動に取り組んだ。

これまでの事業を発展させて未来への継承を目指すには「郵趣力の増強」が何より必要で、会員増強協議会を中心に郵趣を継続・発展させる活動の中核となる「会員力の増強」に全力を挙げた。その一方で会員の減少が続き、予算規模を縮小せざるを得ない厳しい状況下で、個々の事業の点検・見直しを継続した。例えば普及啓発、展覧会、出版の各事業は別個に独立するものではなく、互いに結び付き相乗効果が上げられるような展開を図った。このように収入財源の確保・拡大に努め、効果的な事業支出を進めて財政基盤の安定を図ることができた。

普及啓発事業では、「全国ミニ切手展」キャンペーン、切手オリエンテーション、郵趣入門ガイド、ホームページ及びソーシャル・ネットワークを活用した情報発信を強め、女性、若年など新しい収集家層の発掘を図った。その一環としてWEB会員制度を新設、ジュニア会員の在り方を見直した。第34回を数える全国郵趣大会2016を6月に盛岡市で開催、全国各地で切手の集いを開催するなど、郵趣活動の結びつきを図った。

展覧会事業では、スタンプショウは誰もが気軽に参加して楽しめるイベント、JAPEXは学術調査研究の成果を高めるため我が国で最も権威と歴史のあるコンペティションとして位置付け、「切手で結ぶ 世界の仲間！」をテーマにスタンプショウ2016を4月に、「JAPEXは次の50年へ 未来へつなごう郵便切手文化」をテーマに第51回全国切手展<JAPEX2016>を11月に開催、収集家のニーズに応えた。

出版事業では、当協会創立70周年を記念して新たに『普通切手専門カタログVol.1 戦前編』を刊行。『郵趣』は切手を楽しむ雑誌、『郵趣研究』は専門誌としての役割分担をさらに明確にして、郵便切手の魅力、素晴らしさを伝える誌面作りに取り組んだ。

学術調査研究事業では、専門分野の研究発表会<ミニペックス>を15回開催するとともに、公益財団法人化後の懸案であった部会・例会のあり方を見直した。

国際文化交流事業では、国際切手展、アジア国際切手展への出品、ブース出展などを通じて国際文化交流を推進した。

流通促進事業では、JPSオークションを通じて文化的・歴史的資料を拡散・劣化させることなく次世代に継承していくとともに、当協会の財政安定に資した。また、他団体とも提携して精密偽造郵趣品対策にも取り組んだ。

社会貢献・地域支援事業では、「手紙を書こう！プロジェクト」を中心にパートナー企業・団体との協働プロジェクトを推進し、「新しい公共」の担い手としての役割を果たした。

当協会は1946年の任意団体創立から70年近く、国や自治体等からの助成金に依存せず、郵趣の発展を願う多くの方々・団体からの会費、寄附金、協賛金などにより事業を展開してきたが、事業計画に掲げた2020年の東京オリンピック・パラリンピック、2021年の日本郵便創業150周年を見据えた実効性のある対策は、まだ志半ばである。次年度6月に改選される理事を中心に、引き続き全力を挙げて事業展開に取り組んでいく。

I 公益目的事業

1. 普及啓発事業

万国郵便連合(UPU)加盟約190の国と地域から発行されている郵便切手類が持つ歴史、美しさ、芸術性といった文化的価値を広く社会一般に認識してもらうため、楽しみながら知ることのできる機会を創出していった。また、郵便切手文化を次世代に継承していくため、質の高い情報を積極的に提供していくとともに、幅広い分野で普及啓発活動や情報発信を実施した。

(1) 「全国ミニ切手展」キャンペーン

4月の「切手趣味週間」(切手趣味週間の切手発行日から1週間)に合わせて、全国の郵便局、学校、博物館など公共施設を中心として、日本及び世界各国の郵便切手類を展示する「全国ミニ切手展」を635カ所(前年度629カ所)で開催した。実施テーマにあたっては、地域特性を生かした内容、タイムリーで話題性の高い内容等を選定し、郵便切手文化の普及啓発に努めた。

(2) 切手オリエンテーション

郵便切手文化を普及するため、誰でもが参加・交流できる切手オリエンテーションを開催した。実施テーマにあたっては、初心者の人でもわかりやすく、親しみのもてる内容等を選定し、文化活動の普及啓発に努めた。

①切手オリエンテーション「郵趣入門コース」

広く一般を対象にして、全6回のカリキュラムで「郵趣入門コース」を実施し、受講完了者には修了書を授与した。切手オリエンテーションは切手の博物館(豊島区)で開催し、最終回はスタンプショウ2017の展覧会会場で実施した。

[第1回] 講座テーマ「切手など郵趣品の話」、開催日：6月18日(土)、参加者：2名

[第2回] 講座テーマ「切手など郵趣品の集め方と整理の仕方」、開催日：9月17日(土)、参加者：4名

[第3回] 講座テーマ「マイリーフ作成ガイド」、開催日：11月19日(土)、参加者：6名

[第4回] 講座テーマ「マイリーフ作成実習」、開催日：2017年1月21日(土)、参加者：3名

[第5回] 講座テーマ「アルバムリーフ作成」、開催日：2017年3月18日(土)、参加者：3名

[第6回] 講座テーマ「アルバムリーフ展示」、開催日：2017年4月22日(土)、参加者：3名

②こども切手オリエンテーション

幼児及び小学生児童を対象にして、郵便切手に関する基礎知識から実際に切手を見て触れてみる体験を通して、郵便切手への興味から趣味へ進める場として学んでもらった。こども切手オリエンテーションは、切手の博物館(豊島区)で開催する。

[第1回] 内容：切手の歴史と切手宝探し、開催日：5月14日(土)、参加者：3名

[第2回] 内容：「ゆうびんde自由研究」の作品作りのヒント、アドバイス講座、開催日：6月18日(土)、参加者：5名

[第3回] 内容：切手で遊ぼう、手紙を書いてみよう1、開催日：8月18日(木)～8月21日(日)、参加者：26名

[第4回] 内容：手紙を書いてみよう2(年賀状・クリスマスカード)、開催日：12月10日(土)、参加無。

[第5回] 内容：手紙を書いてみよう3、開催日：2017年3月25日(土)、参加無。

(3) 郵趣入門ガイド

郵便切手類の入手・保存・楽しみ方等についてわかりやすく解説した郵趣入門ガイドとして、「郵趣スタートガイド」及び「郵趣リーフ作成ガイド」(ともにB6判・8ページ)を作成し、切手オリエンテーション、スタンプショウ2016、全国郵趣大会2016in盛岡において無償配布し、普及事業活動を展開した。また、

新たな郵趣入門ガイド「日本切手で始めるスタートガイド」、「知って得する切手入手ガイド」の作成準備作業に取り組んだ。

(4) 郵趣図書の普及促進

郵便切手類の歴史及び郵便制度の研究に必要な図書を広く図書館に配備・リクエストすることにより、地域市民の誰でもが学習活動に平等な機会がえられることを実現し、教育と文化の発展に寄与した。

①郵趣モノグラフ24『尾道の郵便—創業から終戦まで』：11冊

②郵趣モノグラフ25『図録・歴史秘話 南方占領地の切手と郵便』：40冊

③『肥後国熊本郵便局にみる明治前期の郵便』：2冊

④『テーマ別切手カタログvol.1,花切手編』：7冊

⑤『テーマ別切手カタログvol.2,世界遺産・景観編』：7冊

(5) ホームページ及びソーシャル・ネットワークの活用

インターネットによる情報公開の重要性に鑑み、最新の切手発行情報、展覧会、出版物及び文化シンポジウムなどに関する情報をホームページにより適時掲載し、広く社会一般に公開、提供した。また、英語版ホームページを通して海外への情報発信にも努めた。さらに、公式フェイスブック「kitte」、公式ツイッター「kitte club」、LINEスタンプ等のソーシャル・ネットワーク(SNS)を活用して多様な情報を発信し、多数の人々が参加する双方向的なコミュニケーションを図った。

ホームページ総セッション数：1,061千件(前年対比101%)、ツイッター総インプレッション数：59,681千件(同173%)、フェイスブック いいね！：3,999名(同164%)、ツイッター フォロワー：34,686名(同140%)、LINE有効友だち：471名(同103%)。

(6) 全国郵趣大会2016in盛岡(第34回)

全国各地における郵趣活動の結びつきを図り、郵趣に関する情報並びに課題の共有・活用の推進を図るため、全国郵趣大会を開催した。併せて、郵便切手文化の普及啓発並びに学術調査研究に貢献した功労者の顕彰、文化シンポジウム等の企画イベントを実施するとともに、交流と親睦を深める記念レセプションを開催した。

会期：6月11日(土)～6月12日(日)、会場：ホテルメトロポリタン盛岡・本館(盛岡市)、参加者：140名(前年度150名)、内容：記念式典、テーブルバザール9店10テーブル(同7店10テーブル)、記念パーティ参加者：113名(同110名)。
[講演会] ①「和文ローラー印」(講師：斎享氏)、聴講者120名。②「郵趣を巡る日常～この趣味を持っていて本当によかった」(講師：木村博海氏)、聴講者100名。
[分科会セミナー] ①「鳥の子育て」(講師：長谷川尚士氏)、聴講者30名。②「日本の戦争と俘虜郵便」(講師：沼崎弘幸氏)、聴講者30名。③「スイス切手収集あれこれ」(講師：小林莞爾氏)、聴講者30名。④「郵便史研究会の活動」(講師：浅見啓明氏)、聴講者30名。⑤「ワード・エクセル・パワポでできるパソコン・リーフ」(講師：江村清氏)、聴講者40名。

後援：日本郵便(株)東北支社、盛岡中央郵便局

(7) 地方本部主催の「切手のつどい」

郵便切手文化に関する情報の発掘、収集を行うとともに、その結びつきを図り、国民の資源として共有・活用する基盤作りのため、誰でもが参加・交流できる「切手のつどい」を開催した。

①新潟県郵趣の集い2016in新発田(第22回)

会期：5月28日(土)、会場：新発田市生涯学習センター(新潟県新発田市)、参加者：75名(前年度36名)。

主催：中部地方本部、新発田支部

②静岡県郵趣の集い2016in沼津

会期：6月18日(日)～6月19日(月)、会場：ホテル・エルムリージェンシー(沼津市)、参加者：37名(同

37名)。主催：中部地方本部、沼津支部

③岡山切手のつどい2016

会期：6月26日(日)、会場：岡山国際交流センター(岡山市)、参加者：60名(同50名)。主催：中国・四国地方本部、岡山支部

④筑後地方切手のつどい2016(第18回)

会期：7月24日(日)、会場：小都市生涯学習センター「七夕ホール」(福岡県小郡市)、参加者：60名(同55名)。主催：九州・沖縄地方本部、小郡支部

⑤防府切手のつどい夏2016

会期：8月7日(日)、会場：JAとくじ農協会館(山口県防府市)、参加者：50名。主催：中国・四国地方本部、防府支部

⑥広島切手のフリーマーケット2016(第15回)

会期：10月23日(日)、会場：KKRホテル広島(広島市)、参加者：95名(同85名)。主催：中国・四国地方本部、広島鯉城支部

⑦北九州切手のつどい2017

会期：2017年2月12日(日)、会場：アジア太平洋インポートマート[AIMビル](福岡県北九州市)、参加者：60名(同60名)。主催：九州・沖縄地方本部、北九州支部、後援：日本郵便(株)北九州中央郵便局、(公財)西日本産業貿易コンベンション協会

⑧広島切手のつどい2017

会期：2017年2月26日(日)、会場：KKRホテル広島(広島市)、参加者：130名(同140名)。主催：中国・四国地方本部、広島鯉城支部

2. 展覧会事業

郵便切手類及び郵便制度に関する研究を進展させるとともに、作品を鑑賞することにより豊かな情操を養い郵便切手文化に理解を深めるため、展覧会を開催した。郵便切手文化の独自性と継承性を確立することで、出品者及び参観者の高いモチベーションを維持し、文化シンポジウム・イベント等を実施企画することによりPR効果を高め、集客の増加を図った。また、積極的に企業・団体との協働プロジェクトを推進していき、企画プログラムの充実、より多様なニーズに応えた。

(1) 全国規模の展覧会

①スタンプショウ2016(第40回)

世界各国の郵便切手類や郵便消印に関して楽しみながら知ることのできる展覧会として、企画展示「絶技! 凹版切手展」、「南極観測60年記念切手展」の開催、第5回フリースタイル・ワンフレーム展、第17回トピカル切手展の作品を公募した。

開催テーマ：「切手で結ぶ 世界の仲間!」、会期：4月29日(金・祝)～5月1日(日)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、後援：国立極地研究所、南極OB会、白瀬南極探検隊記念館、NPO法人白瀬南極探検100周年記念会、来場者：8,000名(前年度7,000名)、特別協賛：日本郵便(株)、協賛：(株)伊藤園、カシオ計算機(株)、(株)鼓月、(株)東京洋紙店、(株)ながとも、富士急行(株)、(株)不二家、協力：国立印刷局お札と切手の博物館、切手の博物館、郵政博物館、(公財)日本宇宙少年団、(株)わちふいーどライセンス(株)。

企画展示：「絶技! 凹版切手展」：(1)世界の凹版切手コレクション、(2)「日本の建築シリーズ」切手原版刷り、号重ね刷りを特別公開、(3)凹版彫刻工芸官の実像に迫る!、(4)切手がができるまで、「南極観測60年記念切手展」：(1)切手コレクション展示8作品16フレーム、(2)「南極の氷」特別公開、(3)南極観

測隊防寒服展示・着用コーナー、第5回フリースタイル・ワンフレーム展：23作品(前年度23作品)、第17回トピカル切手展：30作品97フレーム(同38作品110フレーム)、外国郵政ブース：4カ国(オランダ、エストニア、スロバキア、ニュージーランド)、切手商ブース：27店37ブース(同31店41.5ブース)。

②スタンプショウ2017(第41回) [準備作業]

企画展示「切手でみる ベルサイユのばら」、「ご当地フォルムカード展」及び企画イベントの実施計画について運営準備を進めるとともに、協力いただける企業・団体の協賛を募った。

開催テーマ：「切手が誘う 夢をいっしょに!」、会期：2017年4月21日(金)～4月23日(日)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、主催：(公財)日本郵趣協会、特別協賛：日本郵便(株)、協賛：(株)伊藤園、カシオ計算機(株)、(株)鼓月、(株)東京洋紙店、(株)ながとも、(株)八丁幸、生活協同組合パルシステム東京、富士急行(株)、(株)不二家、ポスタルスクウェア(株)、(株)渡辺護三堂、(一社)笑い文字普及協会、協力：(有)池田理代子プロダクション、切手の博物館、郵政博物館。

③第51回全国切手展(略称:JAPEX2016)

郵便切手類と郵便制度の研究成果を発表するコンクール形式の展覧会として、企画出品「郷土の郵便印展」、「新動植物国宝切手50年」、「南米切手展」の開催、チャンピオン・クラス、伝統郵趣、郵便史、ステーションナリー、航空郵趣、テーマティック、ユース、文献、ワンフレーム、オープン、その他の全11クラスの競争作品を公募した。併せて、公式ガイドブック、コレクション集CD及び記念出版物を発行して、研究発表の成果を広く一般に公開した。

開催テーマ：「JAPEXは次の50年へ 未来へつなごう郵便切手文化」、会期：11月4日(金)～11月6日(日)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、入場者：4,600名(前年度4,800名)、主催：(公財)日本郵趣協会、後援：外務省、特別協賛：日本郵便(株)、協賛：(株)伊藤園、(株)鼓月、(株)東京洋紙店、(株)ながとも、(株)日本郵趣出版、富士急行(株)、協力：(公財)通信文化協会。

企画出品：「郷土の郵便印展」19作品105フレーム、「新動植物国宝切手50年」8作品31フレーム、「南米切手展」2作品16フレーム、競争出品：142作品459フレーム(同130作品434フレーム)、外国郵政ブース：3カ国(スウェーデン、リヒテンシュタイン、デンマーク)、切手商ブース：33店43.5ブース(同35店45ブース)。

④第52回全国切手展(略称:JAPEX2017) [準備作業]

郵便切手類及び郵便制度に関する研究をさらに発展させていくため、企画出品：「船と郵便」、「北欧切手展」及び記念イベントの実施計画について運営準備を進めた。

開催テーマ：「伝えよう『郵趣』の魅力を!」、会期：2017年11月3日(金・祝)～11月5日(日)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、後援：外務省、ノルウェー大使館、デンマーク王国大使館、スウェーデン大使館、フィンランド大使館 [以上予定]、特別協賛：日本郵便(株)、協賛：(株)伊藤園、(株)鼓月、(株)東京洋紙店、(株)ながとも、(株)日本郵趣出版、富士急行(株) [以上予定]、協力：(公財)通信文化協会 [予定]。

(2) 地方本部主催の展覧会

①スタンプショウ高松2016(第7回)

会期：4月23日(土)～4月24日(日)、会場：市民交流プラザ(香川県高松市)、来場者：120名(前年度100名)、主催：中国・四国地方本部、高松支部。企画イベント：郵趣相談コーナー、切手交換会、紙付き切手の山崩し。

②スタンプショウ=ヒロシマ2016(第33回)

会期：6月4日(土)～6月5日(日)、会場：広島県立産業会館(広島市)、来場者：800名(同500名)、主催：中国・四国地方本部、スタンプショウ=ヒロシマ組織委員会、後援：広島市、広島市教育委員会、日本

郵便(株)中国支社、NHK広島放送局、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、中国新聞社。企画イベント：切手女子コーナー、切手何でも相談室、鑑定コーナー、切手教室。

③スタンプショウくだまつ2016

会期：6月11日(土)～6月12日(日)、会場：スターピアくだまつ(山口県下松市)、来場者：253名(同193名)、主催：中国・四国地方本部、周南支部、後援：日本郵便(株)中国支社、みなと山口合同新聞社。企画イベント：日本切手、外国切手プレゼント、切手クイズ。

④第7回楽しい切手展in横浜

会期：6月25日(土)～6月26日(日)、会場：かながわ県民センター(横浜市)、来場者：393名(同205名)、主催：関東地方本部、横浜支部、横浜旭郵趣会、湘南郵趣の会、相模原支部、後援：日本郵便(株)南関東支社、神奈川新聞社。企画イベント：体験ワークショップ「切手貼り絵」、さくら日本切手カタログ(旧版)及び日本・外国使用済み切手プレゼント。

⑤大阪切手まつり2016(第18回)

会期：7月18日(月・祝)、会場：味覚糖UHA館(大阪市)、来場者：520名(同630名)、主催：関西地方本部。

⑥スタンプショウふくやま2016(第37回)

会期：8月27日(土)～8月28日(日)、会場：まなびの館ローズコム(広島県福山市)、来場者：120名(同100名)、主催：中国・四国地方本部、福山支部、後援：日本郵便(株)中国支社、中国新聞社。企画イベント：収集相談コーナー、無料鑑定。

⑦彩PEX2016(第16回)

会期：9月9日(金)～9月13日(火)、会場：アートギャラリー呼友館(埼玉県川越市)、来場者：460名(同640名)、主催：関東地方本部、川越支部、後援：日本郵便(株)関東支社、川越市教育委員会、埼玉県郵趣連合。

⑧中部スタンプショウ2016in金沢(第15回)

会期：10月1日(土)～10月2日(日)、会場：金沢市文化ホール(金沢市)、来場者：260名(同200名)、主催：中部地方本部、金沢支部、後援：日本郵便(株)北陸支社。企画イベント：出張切手オリエンテーション。

⑨スタンプショウかごしま2016(第19回)

会期：10月1日(土)～10月2日(日)、会場：サンプラザ天文館(鹿児島市)、来場者：208名(同250名)、主催：九州・沖縄地方本部、鹿児島支部、後援：日本郵便(株)九州支社、南日本新聞社、NHK鹿児島放送局、MBC南日本放送、KTS鹿児島テレビ、KKB鹿児島放送、KYT鹿児島読売TV、エフエム鹿児島、鹿児島シティエフエム。企画イベント：収集相談、切手の鑑定、使用済切手のつかみどり。

⑩大阪秋の切手展2016(第3回)

会期：10月9日(日)～10月10日(月・祝)、会場：京セラドーム大阪「スカイホール」(大阪市)、来場者：480名(同520名)、主催：関西地方本部、後援：日本郵便(株)近畿支社。

⑪スタンプショウはかた2016(第27回)

会期：10月15日(土)～10月16日(日)、会場：TKPカンファレンスシティ博多(福岡市)、来場者：263名(同200名)、主催：九州・沖縄地方本部、福岡支部、スタンプショウはかた2016実行委員会、後援：日本郵便(株)九州支社、福岡市教育委員会、NHK福岡放送局、RKB毎日放送、九州朝日放送、FBS福岡放送局、TVQ九州放送、テレビ西日本、読売新聞社、朝日新聞社、西日本新聞社、毎日新聞社。企画イベント：収集相談。

⑫スタンプショウこうち2016・第21回切手のおまつり

会期：10月15日(土)～10月16日(日)、会場：イオンモール高知専門店街・イオンホール(高知市)、来場者：579名(同550名)、主催：中国・四国地方本部、スタンプショウこうち2016実行委員会、後援：日本郵便(株)高知中央郵便局、NHK高知放送局、高知新聞社、KUTV高知放送、KSSさんさんテレビ、RKC高知放送。企画イベント：切手で遊ぼう!楽しい親子の切手工作教室。

⑬関西スタンプショウ2016(第30回)

会期：2017年3月11日(土)～3月12日(日)、会場：OMMビル(大阪市)、来場者：530名(同700名)、主催：関西地方本部、後援：日本郵便(株)近畿支社、関西郵趣連盟。企画イベント：さくら日本切手カタログプレゼント。

(3) 展覧会への出品促進

競争作品を公募するコンクール形式の展覧会への出品を促進するため、出品公募前に出品物の添削・助言等を行い、審査結果発表後には出品者への助言の機会を設けた。

①「JAPEX2016ルールブック」(JAPEX2016開催概要、JAPEX2016特別規則、JAPEX一般規則、JAPEX審査基準、JAPEX出品に関するQ&A等)を作成し、出品希望者への配布及びホームページにおいて公開した。

②新規出品者の育成及び出品コンサルティングの実施

当協会事務局での対面及び通信添削において、作品コンサルティングを実施した。JAPEX新規出品者：21名(前年度10名)、出品コンサルティング利用者：7名(同9名)。

③審査員と出品者との対話(ジュリー・アプレイザル)の実施

実施日：11月6日(日)、会場：第51回全国切手展JAPEX2016 [東京都立産業貿易センター台東館(台東区)]、参加者：30名(同29名)。

(4) 展示備品の整備

展覧会を安定的に開催して郵便切手文化の振興を図るため、所有する展示フレーム及び展示什器の補修整備を進めるとともに、展示フレームの新整備計画を策定し、新しい展示フレームの試作品の制作を行った。

(5) 公認審査員制度と審査員の育成

コンクール形式の展覧会において適正な判定と円滑な運営を行うため、公認審査員制度を設け、第17回トピカル切手展及び第51回全国切手展JAPEX2016 [いずれも東京都立産業貿易センター台東館(台東区)]の審査にあたった。また、10月15日(土)に国際切手展<NEWYORK2016>出品作品に関する郵趣セミナーを開催し、有資格者の審査技術の向上と平準化を図った。

3. 出版事業

郵便切手類及び郵便制度に関する情報を社会一般に広く供するため、万国郵便連合(UPU)加盟約190の国と地域から発行されている郵便切手類に関する内容、意匠、データ並びに郵便制度に関する研究を基にして、各種出版物を発行した。

(1) 書籍及び研究報告書

- ①郵趣モノグラフCD①『新動植物国宝切手』(12月25日刊行)
- ②『第51回全国切手展JAPEX2016コレクション集CD』(12月25日刊行)
- ③JAPEX2016記念出版『郷土の郵便印』(2017年3月25日刊行)

(2) 定期刊行物

- ①切手を楽しむ雑誌『郵趣(YUSHU)』月刊/12回発行

- ②週刊速報紙『郵趣ウィークリー』週刊／50回発行
- ③郵趣専門誌『郵趣研究 (The Philatelic Studies)』隔月刊／6回発行
- ④インターネット版『世界新切手ニュース』月刊／12回配信
- ⑤インターネット版『郵趣ウィークリー』週刊／50回配信

(3) 切手カタログ

- ①『さくら日本切手カタログ2017』(4月20日刊行)
- ②『テーマ別日本切手カタログVol.2 世界遺産・景観編』(7月25日刊行)
- ③『普通切手専門カタログVol.1 戦前編』(日本郵趣協会70周年記念出版、11月10日刊行)
- ④『新中国切手カタログ2017』(12月25日刊行)
- ⑤『ビジュアル日本切手カタログVol.5 記念切手編2001-2016』(2017年2月20日刊行)

4. 学術調査研究事業

郵便切手類及び郵便制度に関する情報(データベース)などを基に学術調査研究を行い、その研究成果を広く社会一般に還元するため、文化シンポジウム、活動事例紹介、研究発表会等を開催し、知的情報の公開・周知を図った。

(1) 部会・例会

全国規模の組織として多角的な研究を行う部会、地域規模の組織として研究情報交換を行う例会の計20グループが延べ210回の会合を開催した。参加者：延べ1,549名(前年度1,541名)。

また部会・例会に関する総合的な意見交換会の部会・例会代表者会議及び同幹事会を設けて、その活動を強化するとともに、2017年度からの研究会移行に向けて、「研究会規程」の策定、会計一元化の手続きの周知を行った。

(2) 文化シンポジウム

講演会、パネルディスカッション、トークショー等の形式により文化シンポジウムを開催し、知見の交換を図るとともに多くの人に参加できる機会を創出した。

①会期：4月29日(金・祝)～5月1日(日)、会場：スタンプショウ2016[東京都立産業貿易センター台東館(台東区)]

- A. 講演会「南極探検隊長 白瀬轟」(講演：佐藤豊弘氏、加賀谷長之氏)、聴講者38名。
- B. 講演会「お宝切手鑑定士が語る 切手の楽しみと目利きのコツ!」(講演：高橋宣雄氏)、聴講者67名。
- C. 講演会「南方占領地・戦時下という状況が生み出した面白いエピソードの数々」(講演：土屋理義氏)、聴講者26名。
- D. トークショー「風景印アイデアお便り大集合・48人それぞれのこだわり」(ゲスト：古沢保氏)、聴講者78名。
- E. トークショー「切手女子のたのしい文通ライフ」(ゲスト：ばばちえ氏、板橋祐己氏)、聴講者49名。
- F. トークショー「凹版切手の魅力」(ゲスト：佐々木裕司氏、植松浩二氏、植村峻氏)、聴講者57名。

②会期：6月11日(土)～6月12日(日)、会場：全国郵趣大会2016in盛岡[ホテルメトロポリタン盛岡・本館(盛岡市)]

- A. 講演会「和文ローラー印」(講師：斎享氏)、聴講者120名。
- B. 講演会「郵趣を巡る日常～この趣味を持っていて本当によかった」(講師：木村博海氏)、聴講者100名。
- C. セミナー「鳥の子育て」(講師：長谷川尚士氏)、聴講者30名。
- D. セミナー「日本の戦争と俘虜郵便」(講師：沼崎弘幸氏)、聴講者30名。

- E. セミナー「スイス切手収集あれこれ」(講師：小林莞爾氏)、聴講者30名。
- F. セミナー「郵便史研究会の活動」(講師：浅見啓明氏)、聴講者30名。
- G. セミナー「ワード・エクセル・パワポでできるパソコン・リーフ」(講師：江村清氏)、聴講者40名。

③会期：11月4日(金)～11月6日(日)、会場：第51回全国切手展JAPEx2016[東京都立産業貿易センター台東館(台東区)]

- A. 講演会「切手に愛された浮世絵師たち」(講演：稲垣進一氏)、聴講者36名。
- B. 講演会「切手で読み解く日本の世界遺産」(講演：佐瀧剛弘氏)、聴講者25名。
- C. 講演会「切手に刻まれた激動の近代史」(講演：原田昌幸氏)、聴講者25名。
- D. 講演会『『できるパソコン・リーフCD!』でできるパソコン・リーフ』(講演：江村清氏)、聴講者33名。
- E. トークショー「切手と文様の世界」(ゲスト：山田泰子氏、井村恵美氏)、聴講者39名。
- F. トークショー「切手女子のおしゃべりトーク」(ゲスト：ばばちえ氏)、聴講者48名。
- G. パネルディスカッション『『日本普通切手専門カタログ』注目のポイントを語る』(専門カタログワーキンググループ)、聴講者50名。

(3) 研究グループの活動事例紹介

誰でもが参加できるブース形式またはディスカッション形式により、全国規模の展覧会において部会・例会等の学術調査研究グループの活動事例を紹介した。

- ①4月29日(金・祝)～5月1日(日)、東京都立産業貿易センター台東館(台東区)で開催した、スタンプショウ2016会場において、12の部会及び例会組織がブースを開設し、日常の専門分野の活動事例を紹介した。
- ②11月4日(金)～11月6日(日)、東京都立産業貿易センター台東館(台東区)で開催した、第51回全国切手展JAPEx2016会場において、16の部会及び例会組織がブースを開設し、日常の専門分野の活動事例を紹介した。

(4) 専門分野の研究発表会

展覧会形式により、切手の博物館(豊島区)において各専門分野の学術調査研究成果を<ミニペックス>と称して広く一般に発表・公開した。

①第31回昆虫切手展

会期：6月11日(土)～6月12日(日)、来場者：260名(前年度270名)、研究発表：昆虫切手部会

②2016イギリス切手部会切手展

会期：6月18日(土)～6月19日(日)、410名(同360名)、研究発表：イギリス切手部会

③第14回絵画切手部会展

会期：6月24日(金)～6月26日(日)、370名(同200名)、研究発表：絵画切手部会

④エンパイア・ステート・ビルの背くらべアメリカ切手展2016 america'16

会期：7月6日(水)～7月10日(日)、220名(同360名)、研究発表：アメリカ切手部会

⑤星に向かって！宇宙切手部会展★AERO/COSMOPEX2016

JPS航空部会展2016 ーとびもの切手大集合ー

会期：9月30日(金)～10月2日(日)、320名、研究発表：宇宙切手部会、航空部会

⑥鉄道切手部会鉄道切手展 Railpex2016

会期：10月12日(水)～10月15日(土)、380名、研究発表：鉄道切手部会

⑦ドヴォルジャーク生誕175周年記念 音楽切手展

会期：10月22日(土)～10月23日(日)、280名(同330名)、研究発表：音楽切手部会

⑧第4回ヨーロッパ切手展

会期：10月29日(土)～10月30日(日)、240名(同200名)、主催：アルプス・ヨーロッパ切手部会

⑨第7回世界の植物切手展

会期：11月10日(木)～11月13日(日)、300名(同240名)、研究発表：植物切手部会

⑩第3回関東郵趣サロン 楽しい切手展

会期：2017年1月13日(金)～1月15日(日)、300名、研究発表：関東郵趣サロン

⑪第12回中国郵票展

会期：2017年1月28日(土)～1月29日(日)、180名(同210名)、研究発表：日本郵趣協会・福井和雄理事長

⑫パソコン郵趣部会展2017

会期：2017年2月3日(金)～2月5日(日)、240名(同200名)、研究発表：パソコン郵趣部会

⑬菊・田沢MINIPEX2017

会期：2017年2月10日(金)～2月12日(日)、270名(同240名)、研究発表：菊・田沢切手部会

⑭楽しいメータースタンプ展2017

会期：2017年3月3日(金)～3月5日(日)、250名(同250名)、研究発表：メータースタンプ部会

⑮第9回聴覚障害者切手クラブ切手展

会期：2017年3月10日(金)～3月12日(日)、260名(同220名)、研究発表：聴覚障害者切手クラブ

(5) 展覧会助成

郵趣分野における研究の発展並びに普及啓発の観点から、社会的要請及び学術的に質の高い研究成果の発表・公開に対して、展覧会助成を実施した。

①魚木五夫と日本郵趣協会展

会期：4月1日(金)～4月3日(日)、130名、主催：魚木五夫氏

②第12回変わり種切手展

会期：4月8日(金)～4月10日(日)、270名(前年度270名)、主催：変わり種切手グループ

③第2回武蔵野地区合同切手展

会期：4月22日(金)～4月24日(日)、290名、主催：三鷹郵趣会、方寸会

④切手フェスタ

会期：5月27日(金)～5月29日(日)、280名、主催：切手フェスタ実行委員会

⑤なでしこ切手倶楽部展2016

会期：6月2日(木)～6月5日(日)、480名(同470名)、主催：なでしこ切手倶楽部

⑥第13回震災切手と震災郵趣展

会期：10月7日(金)～10月9日(日)、150名(同90名)、主催：震災切手研究会

⑦第8回テーマティック出品者の会切手展

会期：2017年1月20日(金)～1月22日(日)、250名(同180名)、主催：テーマティック出品者の会

⑧世界の郵便ステーションナリー展

会期：2017年3月26日(日)～3月29日(水)、130名、主催：魚木五夫氏

(6) 先進学術事例の調査研究と研究発表

各専門分野の先進学術事例の調査研究を行うとともに、この知見を相互に有効活用するため、郵趣専門誌『郵趣研究』において、「地域外宛速達郵便物の取扱い」、「国際展に見るダブルリーフとワイドリーフ」、「新大正毛紙25銭と昭和白紙25銭のマッチドペア」、「日本の郵便機械化 - 高度経済成長期以降の軌跡」等を発表し、広く一般に公開した。

5. 国際文化交流事業

日本と海外諸国・地域との文化活動の交流を図り、友好関係と相互理解を増進するため、自国の歴史・文化を伝える「小さな外交官」と形容される郵便切手類を通して、国際文化交流を推進した。

(1) 国際切手展における国際文化交流

国際切手展の視察、国際郵趣セミナー等の参加を通じて、海外諸国・地域の郵趣家とのネットワークの形成・強化を図るとともに、国際文化交流を契機とした新たな郵便切手文化の創造を推進した。

①国際切手展<NEW YORK2016>への出品

5月28日(土)～6月4日(土)：ジェイコブ・コンベンションセンター(アメリカ・ニューヨーク)で開催された国際切手展<NEW YORK2016>に「ビジュアル日本切手カタログvol.1,vol.2,vol.3,vol.4」を出品し金銀賞、「戦前戦後の記念切手」を出品し大銀賞を受賞した。

②第32回アジア国際切手展<THAILAND 2016>への出品

8月10日(水)～8月15日(月)、ザ・モール・ガムウォンワン・コンベンションセンター(タイ・バンコク)で開催されたアジア国際切手展<THAILAND 2016>に「ビジュアル日本切手カタログvol.1,vol.2,vol.3,vol.4」を出品し金銀賞、「年賀郵便一年賀状と切手の歴史」を出品し大銀賞を受賞した。

③国際切手展<PHILATAIPEI 2016>への出品

10月21日(金)～10月26日(水)、台北世界貿易センター(台湾・台北)で開催された国際切手展<PHILATAIPEI 2016>に「ビジュアル日本切手カタログvol.1,vol.2,vol.3,vol.4」を出品し金銀賞、「年賀郵便一年賀状と切手の歴史」を出品し大銀賞を受賞した。

④第33回アジア国際切手展<CHINA 2016>への出品

12月2日(金)～12月6日(火)、南寧インターナショナル・コンベンション&エキシビション・センター(中国・広西チワン族自治区)に、「ビジュアル日本切手カタログvol.1,vol.2,vol.3,vol.4」を出品し金銀賞、「年賀郵便一年賀状と切手の歴史」を出品し大銀賞を受賞した。

⑤第34回アジア国際切手展<MELBOURNE2017>への出品・視察

2017年3月30日(木)～4月2日(日)、コーフィールド競馬場(オーストラリア・メルボルン)で開催されたアジア国際切手展<MELBOURNE2017>視察に1名を派遣した。視察成果は、2017年度において国際委員会及び審査委員会の合同委員会を開催し、視察者による報告と意見交換を行うとともに、「郵趣研究」にレポートを掲載する。また「ビジュアル日本切手カタログvol.1,vol.2,vol.3,vol.4」を出品し大金銀賞を受賞した。

(2) 各国郵政機関及び海外郵政組織との協働による国際文化交流

日本国としての参加が求められている国際切手展に日本郵政機関と協働してブース出展を行うとともに、海外郵政機関と協働して質の高い国際文化交流の活性化に努めた。

①国際切手展<PHILATAIPEI 2016>へのブース出展

10月21日(金)～10月26日(水)、台北世界貿易センター(台湾・台北)で開催された、国際切手展<PHILATAIPEI 2016>でJAPAN POST(日本郵便)ブースの出展・運営を行い、記念押印サービス等を実施した。

※本事業は、(公財)交流協会の助成事業として実施

②「南米切手展」(South America Stamp Exhibition)の開催

11月4日(金)～11月6日(日)、東京都立産業貿易センター台東館(台東区)で開催された第51回全国切手展JAPEX2016の企画出品として、外務省の後援により「南米切手展」を開催した。

6. 流通促進事業

文化的及び歴史的資料として貴重な国民的財産である郵便切手類を拡散・劣化させることなく、次世代へ着実に継承するため、流通促進事業を実施した。

(1) 流通促進の基盤整備

郵便切手類の偽造品・変造品の不正流通を防止するためにさまざまな対策をとり、郵便事業に対する信認を確保するため、偽造品・変造品に関する情報をデータベースとして蓄積するとともに、郵便切手文化の保全と健全なる市場の形成を図り、広く利用者の便宜性と拡大に努めた。

(2) 公開入札制度<JPSオークション>

公正かつ厳格なマネジメントによる公開入札制度を通して、郵便切手文化を広く一般社会に敷衍するとともに、郵便切手類への不当な投機的流通を防止し、郵便切手類の価値の公正化を図った。

①第503回 開催日：4月30日(土)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)

②第504回 開催日：7月2日(土)、会場：切手の博物館(豊島区)

③第505回 開催日：9月13日(土)、メールオークション

④第506回 開催日：11月5日(土)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)

⑤第507回 開催日：2017年1月7日(土)、会場：切手の博物館(豊島区)

⑥第508回 開催日：2017年3月11日(土)、メールオークション

出品総数:7,666ロット(前年度7,815ロット)、落札総高:75,014千円(同100,099千円)。

7. 顕彰事業

日本及び世界各国の郵便切手類及び郵便制度に関して、その普及啓発並びに調査研究に貢献した功労者(個人及び団体)を顕彰し、郵便切手文化の振興と水準高度化を図った。

(1) 選考委員会

各授賞要項に基づき各選考委員会を設置するとともに、選考基準に基づき授賞者を選考した。

①第37回中島健蔵・水原明窗記念賞

中島健蔵・水原明窗記念賞選考委員会(委員長：福井和雄、委員：魚木五夫、大沼幸雄、長田伊玖雄、落合宙一、桑野博、松本純一)を設置し、4月29日(金・祝)に選考委員会を開催し、受賞者に村岡安廣氏を決定した。

②国際大賞(トレシー・ウッドワード記念賞)

顕彰選考委員会(委員長：福井和雄、委員：浅見啓明、落合宙一、桑野博、玉木淳一)を設置し、3月19日(土)に選考委員会を開催し、該当者なしと決定した。

③第36回郵趣活動賞(個人部門、団体部門)

同上の選考委員会を設置し、次のように決定した。

A. 個人部門：大沢秀雄氏、小林莞爾氏、高須俊朗氏、森下幹夫氏の4名

B. 団体部門：山形支部、長崎支部、郵便史研究会の3団体

④第36回郵趣文献賞

同上の選考委員会を設置し、受賞文献に次の1文献を決定した。

「肥後国熊本郵便局にみる明治前期の郵便」(立山一郎著)

⑤第33回小倉謙賞

第51回全国切手展JAPEX2016審査委員会の審査員で選考委員会(委員長：竹上幸浩)を設置し、11月5日(土)に選考委員会を開催し、受賞者に虎頭雄彦氏「第二次世界大戦と日本」を決定した。

⑥第31回住野正顕賞

第51回全国切手展JAPEX2016審査委員会の審査員で選考委員会(委員長：竹上幸浩)を設置し、11月5日(土)に選考委員会を開催し、該当作品なしと決定した。

(2) 授賞式

表彰は授賞式をもって行うとともに、選考結果は『郵趣』及びホームページにおいて公開した。

- ①第37回中島健蔵・水原明窗記念賞は、10月8日(土)、切手の博物館(豊島区)において、授賞式及び記念講演会を公開で実施した。
- ②第36回郵趣活動賞(個人部門、団体部門)及び第36回郵趣文献賞は、全国郵趣大会2016in盛岡において受賞者を発表するとともに、授賞式を公開で実施した。
- ③第33回小倉謙賞は、第51回全国切手展JAPEX2016において受賞者を発表するとともに、授賞式を公開で実施した。

8. 社会貢献・地域支援事業

郵便切手文化の発展向上に資するとともに「新しい公共」の担い手としての役割を推進していくため、パートナー企業・団体との協働により広く社会一般に貢献する事業を行った。また、地域市民が行う郵便切手文化の公益的活動への助成や情報・ネットワーク支援を図るとともに、文化活動を担うボランティアの醸成と創造性豊かな人材育成に取り組んだ。

(1) 「手紙を書こう！プロジェクト2016」

あらゆる世代において郵便切手文化に触れ合う機会を創出し、手紙コミュニケーションの楽しさを体験してもらうとともに、生き生きとした心豊かな社会の実現を目指していくため、日本郵便(株)をはじめとした多様なサポート企業・団体の協賛を得て実施した。

①体験ワークショップ「手紙を書いてみよう」

- A. 会期：4月29日(金・祝)～5月1日(日)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)
 - B. 会期：8月18日(木)～8月20日(土)、会場：切手の博物館(豊島区)
- 延べ参加者：500名。

②Otegamiフリマ

フリーマーケット形式のイベントとして開催し、広く郵便切手雑貨関連のブース出展を募った。また、郵便切手文化の魅力を再発見してもらうため、「お手紙コーナー」、特設ポストの設置、郵便局臨時出張所による記念押印サービスを実施した。

- A. Otegamiフリマ2016 SPRING 会期：5月13日(金)～5月14日(土)、来場者600名。
- B. Otegamiフリマ2016 SUMMER 会期：8月26日(金)～8月27日(土)、来場者900名。
- C. Otegamiフリマ2016 AUTUMN 会期：11月25日(金)～11月26日(土)、来場者800名。
- D. Otegamiフリマ2017 WINTER 会期：2017年2月17日(金)～2月18日(土)、来場者500名。

会場：いずれも切手の博物館(豊島区)、共催：(一財)切手の博物館、協賛：日本郵便(株)、カシオ計算機(株)、リソー教育グループ

③ゆうびんde自由研究・作品コンテスト2016(第5回)

郵便切手類の歴史や文化を身近に感じ親しんでもらうため、小学生児童を対象にして、郵便に必要な切手、消印を題材にした自由研究作品(切手部門、風景印部門)を公募した。文化・歴史・自然等について知識・研究を深めてもらうことで、郵便切手文化の普及を図るとともに、夏休みの自由研究として取り組んでもらえるように、周知に努めた。

会期：8月18日(木)～8月20日(土)、会場：切手の博物館(豊島区)、後援：文部科学省、(公社)日本PTA全国協議会、豊島区教育委員会、読売KODOMO新聞、特別協賛：日本郵便(株)、協賛：カシオ計算機

(株)、(株)ジャパン・ビバレッジ東京、(株)デサント、富士急行(株)、ポスタルスクウェア(株)、リソー教育グループ。

応募数：切手部門：38作品(前年度38作品)、風景印部門：219作品(同90作品)。表彰式は8月20日(土)に切手の博物館(豊島区)において実施するとともに、優れた作品にグランプリ及び特別賞(6協賛企業・団体)を授与した。

※本事業は、日本郵便(株)の年賀寄付金配分事業として実施した。

④タイムカプセル郵便(未来への手紙)

募集期間：4月1日(金)～2017年3月31日(金)[通年]、引受通数：3,247通(前年度1,481通)、特別協賛：日本郵便(株)、協賛：カシオ計算機(株)、リソー教育グループ、特別協力：東映(株)。

⑤プチ・レトル[Petit Lettre] (愛の国際郵便)

募集期間：4月1日(金)～2017年3月31日(金)[通年]、引受通数：47通(同71通)、特別協賛：日本郵便(株)、協賛：カシオ計算機(株)、リソー教育グループ、協力：フランス郵政、セント・ヴァレンティン郵便局

⑥贈って楽しい、もらって嬉しい風景印・記念印

A. 会期：4月29日(金・祝)～5月1日(日)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)

B. 会期：8月18日(木)～8月21日(日)、会場：切手の博物館(豊島区)

C. 会期：11月4日(金)～11月6日(日)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)

利用者：約1,800名。

(2) 登録支部・団体制度と地域文化活動の支援

郵便切手文化の普及の担い手である市民文化活動の振興を図るため、登録支部・団体との連携を強め、各地域における自主的活動や特性を発揮しながら、効果的な事業が推進できるように支援した。

登録支部・団体：98(前年度98)

①地域が取り組む展覧会及び切手教室への助成

登録支部・団体が開催した延べ26回の展覧会及び3回の切手教室への助成を行った。

②郵便切手文化活動への広報協力

『郵趣(YUSHU)』及び協会ホームページにおいて、各地域のイベントを紹介した。

③地域文化活動の活性化及び企画プログラムの提供

地域の郵趣活動を活性化させるため、企画プログラムの提供、講師の紹介などの支援を行った。

(3) パートナー企業・団体との協働プロジェクト

企業・団体と当協会が互いの特性や持てる資源を活かし合って、その取り組む課題やプロセスを共有し、協働して郵便切手文化に関する新たなニーズに応えた。

①日本郵便(株)主催の「手紙の書き方体験授業」の参加記念品として、使用済外国切手を提供した。

②分冊百科『世界の切手コレクション』(アセット・コレクションズ・ジャパン(株)発行)の監修及び切手等の図版提供を行った。

③「メッセージフェスタ2016 in KITTE」への参画

A. 日本郵便(株)主催の「メッセージフェスタ2016 in KITTE」[会期：9月17日(土)～9月19日(月・休)、会場：JPタワー・KITTE]にブース出展し、東映(株)とのタイアップによるタイムカプセル郵便(未来への手紙)の周知と、イギリスポスト・オランダポスト・チェコポストによる共同ブースの運営を行った。

B. 日本郵便(株)主催の「春のメッセージフェスタ2017 in THANKS KITTE」[会期：2017年3月18日(土)～3月20日(月・祝)、会場：JPタワー・KITTE]にブース出展し、スタンプショウ2017の周知を行った。

④青少年ペンフレンドクラブ(PFC)及びSNSの周知連携

日本郵便(株)発行の「Letter Park」紙面を利用して、展覧会等の開催周知の連携を図った。

(4) ボランティアの醸成

郵便切手文化に関する理解と関心を高めるとともにボランティア活動への市民参加の促進を図るため、体験・情報提供を行い、支え合いの輪を広げる仕組み作りを推進した。

①郵趣のための押印講習会（押印技能認定制度）

展覧会イベントの郵便局臨時出張所の押印スタッフとして活躍してもらうため、関東地区の登録支部・団体に呼び掛けて押印ボランティアの募集を図るとともに、普及委員会、スタンプショウ委員会が中心になり、押印講習会を4回開催して指導を行った。押印ボランティア登録者：23名。

②展覧会運営ボランティアの公募

当協会の公式ホームページをはじめ、ボランティア募集を掲載するWEBサイト3社に登録して体験・情報提供を行い、支え合いの輪を広げる仕組み作りを推進した。

A. 4月29日(土・祝)～5月1日(日)開催のスタンプショウ2016に一般ボランティア17名の応募があり、延べ32名が運営ボランティアとして参加した。

B. 11月4日(金)～11月6日(日)開催の第51回全国切手展JAPEX2016に一般ボランティア13名の応募があり、延べ22名が運営ボランティアとして参加した。

(5) 公益活動への支援

①切手の博物館主催の「切手バザール」(会期：4月16日～4月17日、5月21日～5月22日、7月2日～7月3日、9月24日～9月25日、11月19日～11月20日、2017年1月7日～1月8日、2月25日～2月26日、3月19日～3月20日延べ8回)の開催を支援した。

②目白ロードレース実行委員会主催の第20回目白ロードレース(会期：2017年3月5日、会場：学習院キヤンパス周辺)の開催に協賛した。

9. 公益事業資金の造成

郵便切手文化の向上発展に資するとともに未来に継承する公益事業資金造成のため、協力していただける企業・団体の募集、多くの方々に気軽にご支援いただけるよう、さまざまな形で寄付を募った。この益金は、広く社会一般に還元する事業のために充当した。

(1) サポート・パートナー企業・団体の募集

スタンプショウ2016に対して13企業・団体(前年度15企業・団体)、ゆうびんde自由研究・作品コンテスト2016に対して8企業・団体(同7企業・団体)、第51回全国切手展JAPEX2016に対して8企業・団体(同9企業・団体)から協賛、協力の支援を得た。

(2) 使用済み切手、書き損じはがきの募集

募集期間：2016年4月1日(金)～2017年3月31日(金)、協賛件数：2,423件(同2,046件)。

(3) 財政安定化寄附金（一般寄附金）

募集期間：2016年4月1日(金)～2017年3月31日(金)、協賛者：6名、436,863円(同3名、11,230円)。

(4) スタンプショウ2016寄附金（特別寄附金）

募集期間：1月5日(火)～5月1日(日)、特別寄附金：19口(1口3万円)、一般寄附金：383口(1口4,000円)、協賛者：402名、2,442千円(同322名、1,928千円)。

(5) JAPEX2016寄附金（特別寄附金）

募集期間：7月1日(金)～11月6日(日)、特別寄附金：31口(1口3万円)、一般寄附金：502口(1口4,000円)、協賛者：533名、3,780千円(同591名、3,617千円)。

II 管理部門

1. 会員事業

(1) 会員の維持・拡大

①WEB会員制度の新設

若い年齢層の新規会員、及び女性会員を増やすため、割安な会費を設定して、インターネットを通して郵趣情報を入手できる会員制度を新設した。

A. 4月29日(土・祝)～5月1日(日)開催のスタンプショウ2016において、WEB会員入会キャンペーンを実施した。入会者：11名。

B. 11月4日(金)～11月6日(日)開催の第51回全国切手展JAPEX2016において、WEB会員入会キャンペーンを実施した。入会者：6名。

②会員増強運動

理事、地方本部長及び全国の熱心な郵趣活動家による会員増強協議会を中心にして、新規会員獲得の活動を行った。新入会者：14名(前年度11名)。

③移籍のお願いキャンペーン(普通会員から正会員へ、正会員から維持会員への移籍)、会員在籍継続及び再入会ダイレクトメール、会費自動引き落としの利用拡大の呼びかけを実施した。

普通会員から正会員への移籍者：10名(前年度10名)、正会員から維持会員への移籍者：1名(同2名)。

④『正会員会報』月刊/12回発行

⑤「入会のご案内」改訂版の作成

WEB会員の開設に伴い、「入会案内」の改訂版を作成した。

(2) 会員情報管理システムの整備

会員情報を組織的に適正に管理してデータの円滑な利活用を行うため、会員情報管理システムを整備するとともに、事務の簡素化・効率化及び情報提供サービスの高度化を推進した。

2. 交流事業

心豊かな潤いのある社会創造の理念に基づき、会員相互の交流と親睦を深めるとともに、郵便切手文化を国民の資源として共有・活用できる基盤作りを図った。

(1) 新春交歓会

①東京・新春交歓会2017

会期：2017年1月7日(土)、会場：ホテルメッツ目白「フィオレンティーナ」(豊島区)、参加者：55名(前年度62名)。

②大阪・新春交歓会2017

会期：2017年1月14日(土)、会場：ホテルグランヴィア大阪(大阪市)、参加者：47名(同45名)。

(2) 地方本部主催の郵趣大会

①東北郵趣大会2016in盛岡(第26回)

会期：6月11日(土)～6月12日(日)、会場：ホテルメトロポリタン盛岡・本館(盛岡市)、参加者：140名(前年度57名・今年度は全国郵趣大会に併設)、主催：北海道・東北地方本部

②関東郵趣大会2016in杉並(第32回)

会期：9月18日(日)、会場：杉並公会堂(杉並区)、参加者：91名(同87名)、主催：関東地方本部

③北海道郵趣大会2016in札幌(第25回)

会期：10月2日(日)～10月3日(土)、会場：ホテルサンルートニュー札幌(札幌市)、参加者：50名(同54名)、主催：北海道・東北地方本部

(3) コミュニティ通貨「フィラ」

発行数：29,003枚、流通数：1,164枚(流通率4.0%)

2016年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

2017年6月

公益財団法人 日本郵趣協会